



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場会社名 株式会社ノザワ

上場取引所 東

コード番号 5237 URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 野澤 俊也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 金井 一弘

TEL 078-333-4111

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	10,581	4.1	1,501	24.0	1,511	30.1	1,015	25.5
27年3月期第2四半期	10,166	7.7	1,210	31.1	1,162	19.8	808	28.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 939百万円 (13.5%) 27年3月期第2四半期 827百万円 (△11.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	44.51	—
27年3月期第2四半期	34.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	23,976	13,454	53.3	560.27
27年3月期	23,516	12,744	51.2	528.04

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 12,780百万円 27年3月期 12,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	10.00	10.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,150	0.9	2,750	6.2	2,720	3.9	1,800	5.9	78.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	24,150,000 株	27年3月期	24,150,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,339,453 株	27年3月期	1,338,133 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	22,811,220 株	27年3月期2Q	23,181,784 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費に底堅い動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、中国及び新興国経済の減速により、先行き不透明な状況となっております。建築材料業界におきましては、資材価格の上昇・技能工不足に伴う人件費の増加等、建設費高騰の影響があるなか、企業業績改善を背景に設備投資が緩やかな増加基調で推移するとともに、住宅投資に持ち直しの動きがみられました。

このような状況のなか、当社グループは、「やすらぎと安心の創造」の経営理念のもと、高付加価値商品、施工現場省力化及び環境負荷低減に貢献できる商品等、顧客ニーズに対応した商品の拡充を図ってまいりました。

押出成形セメント板「アスロック」の新たなデザインとして、2014年度グッドデザイン賞を受賞したグリッドデザインシリーズの新柄、「ミクティルB」を発売（平成27年4月）。通し目地を部分的に入れることでランダムな中にも規律性を持たせた心地よいデザインを実現しました。また、3:5:7の素数（Prime number）が奏でる不連続配置のデザインで好評頂いております「プライムライン」（600幅）に「プライムライン900幅タイプ」を追加発売（平成27年6月）。900幅とすることにより、ダイナミックで重厚感に富んだ壁面を構成することが可能となりました。さらに、乾式タイルと「アスロック」のリップを1枚のパネルの中で交互に配置した新デザインタイルパネル「Asloc Tile Deco（アスロックタイルデコ）」を開発、発売（平成27年10月）。乾式タイルの焼き物独特の風合いとセメントの素材感の調和による独創的なテクスチャーを表現しました。工法面においては、大型アルミパネル仕上げを実現した「アスロックレールファスナー ストロング」を発売（平成27年9月）。当社独自のパネル形状と強度低下防止構造により、大型のアルミパネルでもアスロックを長スパンで取り付けることが可能となりました。

販売部門では、技能工不足・工期短縮に貢献できる「アスロックLS工法（Labor Saving工法）」並びに「工場プレ加工」の商談数量を増やすとともに、デザイン・性能に加え工期短縮への寄与に評価を頂いております「グリッドデザインシリーズ」・「カラー品」の販売数量を伸ばしました。また、商品・工法の概要及び性能についての理解をさらに深めて頂くため、ホームページに公開しております動画のラインナップに、「レールファスナー工法」・「ニューセフティ工法」を追加いたしました。生産部門では、NNPS（ノザワ・ニュー・プロダクション・システム）改善活動により、各工程の生産性を高め、品質の向上・コスト削減に努めました。管理部門では、システム構築及び改善をすすめ、業務の効率化に繋げるとともに、有利子負債を圧縮、財務体質改善に取り組みました。海外事業につきまして、「野澤貿易（上海）有限公司」では、上海を中心とした華東地区・華南地区において一般建築向け「アスロック」のPR効果が現れ始めましたが、「野澤積水好施新型建材（瀋陽）有限公司」では、中国建設市場低迷のなか、戸建住宅向け「軽量外壁材」は厳しい状況で推移いたしました。

これらの結果、品種別売上高については、押出成形セメント製品関連では、主力の押出成形セメント板「アスロック」は69億93百万円（前年同期比4.8%増加）、住宅用軽量外壁材は12億4百万円（前年同期比2.8%増加）となり、押出成形セメント製品関連合計では81億98百万円（前年同期比4.5%増加）に、耐火被覆等は6億96百万円（前年同期比20.5%増加）、スレート関連は4億68百万円（前年同期比2.4%増加）となったこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は105億81百万円（前年同期比4.1%増加）となりました。

利益面については、主力である押出成形セメント製品が伸長したことに加え、生産性の向上及びコスト削減に努めました結果、営業利益は15億1百万円（前年同期比24.0%増加）、経常利益は15億11百万円（前年同期比30.1%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億15百万円（前年同期比25.5%増加）となり、当第2四半期連結累計期間において、5期連続の増収増益となるとともに、3期連続の最高益更新となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ受取手形及び売掛金が5億58百万円、商品及び製品が72百万円それぞれ増加したこと等により98億62百万円（前連結会計年度末と比較して6億76百万円増加）となりました。固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ有形固定資産が減価償却等により1億44百万円減少、投資有価証券が84百万円減少したこと等から、141億14百万円（前連結会計年度末と比較して2億15百万円減少）となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ4億60百万円増加し239億76百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ短期借入金が2億61百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が2億77百万円増加したこと等から、58億76百万円（前連結会計年度末と比較して1億46百万円増加）となりました。固定負債の残高は、長期借入金が前連結会計年度末に比べ3億86百万円減少したこと等から、46億45百万円（前連結会計年度末と比較して3億96百万円減少）となりました。この結果、負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ2億49百万円減少し105億22百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、利益剰余金が7億87百万円増加したこと等から、134億54百万円（前連結会計年度末と比較して7億10百万円増加）となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は31億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の増加は10億91百万円(前年同期は9億16百万円の増加)となりました。これは法人税等の支払額5億58百万円や、売上債権の増加額4億17百万円等の資金の減少要因があった一方、税金等調整前四半期純利益14億97百万円や、仕入債務の増加額3億54百万円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の減少は1億39百万円(前年同期は34百万円の減少)となりました。これは有形固定資産の取得による支出1億17百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の減少は8億89百万円(前年同期は11億82百万円の減少)となりました。これは長期借入金の返済による支出5億75百万円や親会社による配当金の支払額2億27百万円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の見通しにつきましては、今後も緩やかな回復が続くと見込まれるものの、建設費高騰による建設投資計画の見直しや見送りに加え、中国及び新興国経済の下振れリスクや欧州債務問題等、先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

このような状況のなか、当社グループは、体質強化・収益拡大・飛躍成長の各戦略の確実な遂行により、更なる企業発展を推進してまいります。販売部門では、設計段階から顧客ニーズに基づいた提案営業を実施、商談数量を増やすとともに、工期短縮による施工現場のトータルコストダウンに貢献できる「アスロックL S工法」・「工場プレ加工」・「グリッドデザインシリーズ」の販売に注力し、受注数量をさらに伸ばしてまいります。生産部門では、NNPS改善活動により、品質・納期に対するお客様満足度の更なる向上に努めるとともに、コスト削減に繋げてまいります。開発部門では、顧客が求める品質・性能・コストを追求し、高付加価値商品・環境負荷低減商品・施工の省力化に貢献できる商品並びに、居住空間の安全・安心・快適性に優れた商品を拡充してまいります。管理部門では、業務効率の向上を図り、トータルコスト削減に取り組むとともに、有利子負債の圧縮をさらに進め、財務体質及び経営基盤の強化に取り組んでまいります。マイケミカル事業では、顧客の栽培計画に基づいた提案営業を地域別に展開するとともに、商品並びに用法開発を進め、拡販に繋げてまいります。海外事業では、「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」において、北京・遼寧地区での商談数量増加に努めるとともに、「野澤貿易(上海)有限公司」においては、瀋陽での販売拠点を上海に統合、上海を中心とした華東地区・華南地区での受注数量拡大に注力してまいります。

これらの積極的な事業展開により、当連結会計年度は、売上高211億50百万円、営業利益27億50百万円、経常利益27億20百万円、親会社株主に帰属する当期純利益18億円を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,116,407	3,182,714
受取手形及び売掛金	4,144,884	4,703,110
商品及び製品	438,988	511,033
仕掛品	2,037	3,990
原材料及び貯蔵品	141,073	161,331
未成工事支出金	184,253	278,096
その他	1,161,853	1,026,272
貸倒引当金	△3,124	△3,620
流動資産合計	9,186,374	9,862,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,151,857	2,095,451
機械装置及び運搬具(純額)	2,118,560	2,040,325
土地	6,473,480	6,473,480
建設仮勘定	47,490	35,338
その他(純額)	262,356	264,914
有形固定資産合計	11,053,745	10,909,511
無形固定資産	16,462	15,346
投資その他の資産		
投資有価証券	2,625,395	2,540,692
その他	712,197	726,584
貸倒引当金	△78,104	△78,104
投資その他の資産合計	3,259,487	3,189,171
固定資産合計	14,329,694	14,114,029
資産合計	23,516,068	23,976,958

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,806,572	3,084,392
短期借入金	1,047,000	786,000
未払法人税等	576,307	560,696
賞与引当金	275,000	276,500
その他	1,024,837	1,168,952
流動負債合計	5,729,717	5,876,541
固定負債		
長期借入金	1,186,000	800,000
再評価に係る繰延税金負債	1,546,838	1,546,838
退職給付に係る負債	1,823,613	1,829,308
資産除去債務	16,618	16,686
その他	468,853	452,850
固定負債合計	5,041,924	4,645,685
負債合計	10,771,642	10,522,226
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	4,476,800	5,264,009
自己株式	△257,088	△257,852
株主資本合計	8,139,284	8,925,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	703,376	625,195
土地再評価差額金	3,061,930	3,061,930
為替換算調整勘定	276,382	294,910
退職給付に係る調整累計額	△135,421	△127,651
その他の包括利益累計額合計	3,906,267	3,854,385
非支配株主持分	698,874	674,616
純資産合計	12,744,426	13,454,731
負債純資産合計	23,516,068	23,976,958

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,166,672	10,581,523
売上原価	6,726,705	6,787,916
売上総利益	3,439,967	3,793,607
販売費及び一般管理費	2,229,516	2,292,550
営業利益	1,210,450	1,501,056
営業外収益		
受取利息	507	305
受取配当金	29,885	36,851
為替差益	—	13,026
その他	25,374	19,122
営業外収益合計	55,767	69,305
営業外費用		
支払利息	26,671	15,741
為替差損	25,060	—
その他	52,243	42,863
営業外費用合計	103,975	58,605
経常利益	1,162,242	1,511,756
特別損失		
固定資産除却損	11,471	14,730
特別損失合計	11,471	14,730
税金等調整前四半期純利益	1,150,770	1,497,026
法人税、住民税及び事業税	396,932	533,754
法人税等調整額	△16,243	△9,992
法人税等合計	380,688	523,761
四半期純利益	770,081	973,264
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△38,863	△42,062
親会社株主に帰属する四半期純利益	808,945	1,015,327

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	770,081	973,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99,831	△78,180
為替換算調整勘定	△71,183	36,331
退職給付に係る調整額	28,551	7,770
その他の包括利益合計	57,199	△34,077
四半期包括利益	827,281	939,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	901,045	963,445
非支配株主に係る四半期包括利益	△73,763	△24,258

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,150,770	1,497,026
減価償却費	273,656	296,372
貸倒引当金の増減額(△は減少)	205	495
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	909	17,296
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,000	1,500
受取利息及び受取配当金	△30,393	△37,156
支払利息	26,671	15,741
為替差損益(△は益)	24,997	△12,952
固定資産除却損	10,399	14,180
売上債権の増減額(△は増加)	12,865	△417,090
たな卸資産の増減額(△は増加)	△187,181	△184,544
仕入債務の増減額(△は減少)	284,303	354,212
その他	120,512	80,435
小計	1,685,716	1,625,518
利息及び配当金の受取額	30,393	37,156
利息の支払額	△23,228	△12,655
法人税等の支払額	△776,644	△558,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	916,237	1,091,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△191,047	△117,899
投資有価証券の取得による支出	△15,918	△30,814
その他	172,002	9,086
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,963	△139,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	430,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△430,000	△172,000
長期借入金の返済による支出	△790,000	△575,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△22,174	△14,354
自己株式の取得による支出	△207,539	△763
親会社による配当金の支払額	△162,287	△227,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,182,001	△889,294
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,457	3,716
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△312,185	66,307
現金及び現金同等物の期首残高	3,545,930	3,116,407
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,233,744	3,182,714

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別生産実績は次のとおりです。なお、その他の事業の生産はありません。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	増減
区分			
押出成形セメント製品	4,766,727千円	4,839,068千円	72,340千円
スレート関連	308,238	294,394	△13,844
その他	38,765	41,795	3,030
合計	5,113,731	5,175,257	61,525

(注) 1 金額は、製造価格によります。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業のうち、工事の受注状況は次のとおりです。なお、その他の事業の受注はありません。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
区分						
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
押出成形セメント製品工事	594,855	590,725	749,035	964,009	154,179	373,284
スレート工事	9,440	9,850	7,460	3,650	△1,980	△6,200
耐火被覆等工事	706,994	382,036	1,031,762	736,322	324,768	354,286
その他工事	352,294	330,638	262,616	343,198	△89,677	12,559
合計	1,663,584	1,313,249	2,050,874	2,047,179	387,290	733,930

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における単一の報告セグメントである建築材料関連事業の品種別販売実績は次のとおりです。

期別	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	増減
区分			
建築材料関連事業	千円	千円	千円
押出成形セメント製品関連	7,846,660	8,198,491	351,831
(内、アスロック)	(6,674,844)	(6,993,568)	(318,723)
(内、住宅用軽量外壁材)	(1,171,815)	(1,204,923)	(33,107)
スレート関連	457,130	468,177	11,046
耐火被覆等	577,813	696,202	118,389
その他	1,265,852	1,199,875	△65,976
計	10,147,456	10,562,746	415,290

なお、その他の事業の販売実績は、当第2四半期連結累計期間18,776千円であり、前年同期比439千円の減少となっております。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		増減
	金額	割合	金額	割合	金額
積水ハウス(株)	2,421,373千円	23.8%	2,524,115千円	23.9%	102,741千円
伊藤忠建材(株)	1,472,969	14.5	1,432,008	13.5	△40,960

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は、上記のとおりです。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。